

みなさん、こんにちは。県立生涯学習推進センターメールマガ担当です。

2月3日は節分です。節分は、平安時代に中国から日本に伝わった文化と、日本古来の考え方と融合して生まれたものと考えられています。悪いものを追い出し、縁起の良いものを食べて、新しい季節を迎えるための行事です。

節分には、豆まきをしたり、恵方巻を食べたり、いわしを飾ったりと、みんなが参加できる風習が全国に数多くありますね。

我が家の豆まきは、邪気払いの意味を込めて、父親が家中の各部屋で「福は内、鬼は外」といながら落花生をまき、子どもたちが後を追って拾って集めます。テレビ等でよく見る父親が鬼役をし、子どもたちが豆をぶつけることはしません。私が初めて鬼に豆をぶつけたのは、保育園での節分行事でした。当時は、豆まきをしていると、鬼をみんなでいじめているように感じて、決して良い気分ではありませんでしたが、のちに、自分の心の「鬼」を追い出すために行くと教えてもらおうと、誰よりも力強くぶつけていたと思います。

さて、なぜ節分は「鬼に豆」というイメージが強いのでしょうか。

それは、昔は、病気や災害など悪いものは「鬼」の仕業であるという考えがあったことと、仏教では、鬼が煩惱や欲望の強い人の心に住み着き、災いのもととなる存在などと考えられていたためです。そして、「鬼が住む煩惱や欲望を追い払う」という意味で、鬼を退治するのに効果があるとされた豆を投げつける風習が浸透していったそうです。豆には「魔物を滅ぼす＝魔滅（まめ）」に通じているとか、大豆は五穀の一つで穀霊が宿っており、ぶつけた時の音も大きいので、悪霊を払うのに最適である等の理由があるそうです。

実は、鬼は赤鬼と青鬼だけではありません。仏教の「五蓋（ごがい）」（心を縛る5つの煩惱）の教えに基づき、節分の鬼は5色あるそうです。そして持っている武器も違うそうです。

- ①赤鬼・・・人間の欲望や全ての悪心の象徴。武器は金棒。豆を投げることで、自分勝手な欲望を断ち切り、悪い心を取り除けると言われている。
- ②青鬼・・・怒りや誰かを憎む気持ちの象徴。武器は刺股。貧しい心を捨てたいときは、青鬼には豆を投げず、自分に向かって投げると言われている。
- ③黄鬼（白鬼）・・・自己中心的な甘い考えの象徴。武器は両刃。豆を投げることで、甘い考えを捨て去り公平に物事を考えられると言われている。
- ④緑鬼・・・怠惰の象徴。武器は薙刀。豆を投げる際は、自分を反省しながら投げると健康的な生活を心がけることができると言われている。
- ⑤黒鬼・・・人を疑う卑しい心の象徴。武器は斧。豆を投げることで、卑しい心を滅し、平穏な心が手に入ると言われている。

明日の節分は、追い払いたい自分の心の「鬼」の色を家族の話題にすると、豆まきがより楽しいものになるかもしれません。また、鬼役の方は、色や武器にこだわると、より良い「鬼」を演じられるかもしれませんね。

<参考 HP>

- ・ <https://web.hh-online.jp/hankyu-food/blog/lifestyle/detail/001196.html>
- ・ <https://ametasyokudou.com/2021/01/23/demon/>

☆子育てに関する悩みを一緒に考えます☆

子育て電話相談「すこやかダイヤル」 0198-27-2134

☆メルマガへのご感想、アドレス変更・配信停止はこちらへ(^\_^)/

[kosodatem@pref.iwate.jp](mailto:kosodatem@pref.iwate.jp)

★=====★

【発行・文責】岩手県立生涯学習推進センター

【HP】 <https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/>

【Twitter】 <https://twitter.com/manabinetiwate>

★=====★